

⑨その他（地域コミュニティ協議会）

事例① 高齢者いきがいプロジェクト【長山地域コミュニティ協議会】

★活動内容

- 地域の高齢化や蛇沼公園の荒廃の問題を、地域でどう解決すべきか検討。（自主解決策）
- 地域の将来構想検討委員会の設立で、課題と解決策を協議会で議論。（平成 27 年度）
- 高齢者は地域の重荷？⇒高齢者の居場所があり、技術経験を活かし活躍できる機会の創設。
- その結果、地域のボランティアの募集・高齢者のアンケート調査の実施。（平成 27 年 11 月）
- ◎早起きラジオ体操の会
- ◎住民交流の場「ゆるカフェ」設立
- ◎蛇沼自然再生整備活動
- ◎高齢者の生活支援「はっぴー♡あしすと」活動
- ◎認知症家族の支援相談窓口（検討中）

★活動スケジュール・プロセス

- 高齢者の意識調査の結果：地域の為に協力できる有能な人材が潜んでいることが判明。
- 平成 27 年から責任者を決めて、健康作り・住民交流・蛇沼の自然整備の活動をスタート。
- ①ラジオ体操会：平成 27 年 9 月 12 日～毎日、長山第三児童公園で実施。（毎年のべ 10,000 人/年）（お正月も休まず実施しています。）
- ②蛇沼再生整備：平成 27 年 8 月～毎月 1 回、20～30 人の参加で、除草・柵整備・清掃。
- ③ゆるカフェ：平成 27 年 8 月～毎月 1 回、コミセンロビーにて、喫茶・手芸・雑談など実施。
- ④はっぴーあしすと：平成 28 年 5 月発足、規約・マニュアル作成・ボランティア募集チラシパンフレット作成。（全戸配布）6 月より生活支援の実施。（年間 100 件以上、売上 10 万円）
- ⑤ひだまり（認知症対応）：令和 2 年 11 月より検討を開始、令和 4 年 1 月～試行開始予定。

★活動の成果・課題

- 高齢者のいきがいプロジェクトの活動内容は多岐にわたる為に、それぞれに成果や課題がある。
 - 高齢者の意識調査から感じられたことは、地域には優秀な人材（人財）が大勢眠っている。その方々をいかに地域活動に参加させられるか？そのまとめ役（リーダー役）の発掘。
 - それぞれの、活動での成果をまとめると、
 - ①それぞれの活動が、開始して既に 7 年間継続できている。（コロナ感染防止で配慮必要だが）
 - ②参加者が元気に毎日ラジオ体操に、30～40 人来て、声掛けをしながら安否確認ができている。
 - ③高齢者の生活支援で、庭の除草要望が一番多いが依頼者から喜ばれて継続して依頼が来る。
 - ④ゆるカフェは、女性陣の交流の場となっている。
 - ⑤ひだまり（認知症対応）に関しては、現在検討中です。成果はこれからです。
 - ⑥長山小学校の「将来の職業の夢」で地域の有識者の職業体験談の授業も実施（平成 26 年～）。
- ※活動写真・アンケート調査結果は、必要であればご覧いただくことが可能です。

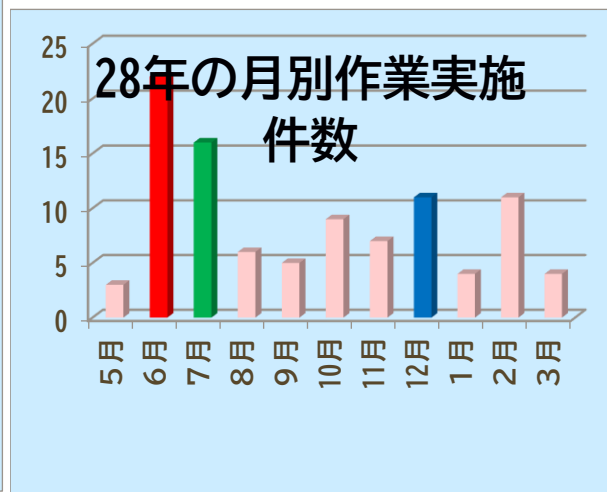
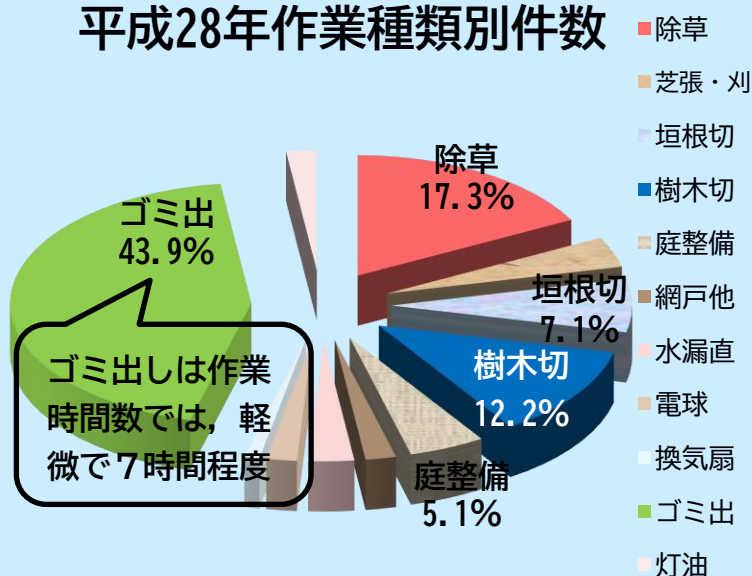
★苦労した点・工夫した点

- 活動を推進するメンバーがテーマごとに同じ人間が重複しているために負担が大きい。
- 活動を開始（平成 27 年）してから、7 年経過して当時 65 歳だった人も 70 歳代に入り、「寄る年波には・・・」で、活動への参加が難しくなっている。若者の加入が少ない。
- 世代交代・後継者の育成が、現在の最大の課題。
- こうした地域の活動の主体は、自治会の関与が不可欠だと考えるが、現状は自治会の役員は毎年交代するため難しい。

「はっぴーあしすと」 2年間（平成28年～29年）の作業活動の分析・実績

- ①登録ボランティアの人数・・・39名（令和3年4月現在の登録人数）
- ②事業（活動）の状況・・・平成28年度4月23日（土）組織設立総会にて承認以降の状況平成28年度の事業状況（作業依頼処理状況）・・・総依頼数：110件
- ③令和2年～3年はコロナ感染防止の影響で、依頼件数は若干減少傾向

平成28年作業種類別件数



Before



After



Before



After

問合せ先：長山コミュニティセンター（長山地域コミュニティ協議会事務局）TEL：0297-66-7285

⑨その他（地域コミュニティ協議会）

事例② 城ノ内お助け隊【城ノ内コミュニティ協議会】

★活動内容

城ノ内コミュニティ協議会ボランティア「お助け隊」は、地区内で「ちょっと」困っている人をボランティアできる人ができる範囲で手助けし、城ノ内地区内の助け合いを広げるとともに、住民のつながりを深めることを目的としている。この活動の事務局は城ノ内コミュニティセンター内に置かれている。

★活動スケジュール・プロセス

事務局では、「高齢で草刈が大変なので手伝ってもらいたい」あるいは、「病院に行きたいのだが、付き添ってもらえないだろうか」、「障子の張替をお願いしたい」などの要望があれば、

- ①「しろのさと受付用紙」に依頼者氏名、依頼内容、実施日などを記入する。
- ②依頼内容により担当ボランティアを選び、連絡する。
- ③依頼者に決定した担当ボランティア氏名と内容確認の連絡をする。

このように事務局が依頼者とボランティアの連絡調整役を果たしている。

★活動の成果・課題

<成果>

ボランティアを実施することにより、地区内の「生活に支援の必要な方」の利便性の向上につながった。

<課題>

ボランティア活動ができる人は高齢化し、減少している。今後、「お助け隊」を継続していくためには人材の確保が重要になってくる。

★苦勞した点・工夫した点

ボランティアの報酬は、内容に関係なく1時間当たり300円という時間制をとっている。そして支払いはチケット制で、依頼者は事務局で必要枚数(1枚300円分)のチケットを購入し、活動に要した時間分のチケットをボランティアに渡す。ボランティアは、事務局で商品券に交換するという流れになっている。依頼者とボランティアとの間で、現金の授受は行っていない。



⑨その他（地域コミュニティ協議会）

事例③ あおぞらサロンの活動（クリスマスお楽しみ会）【北文間コミュニティ協議会】

※あおぞらサロンとは？→コミュニティセンター図書室を「あおぞらサロン」に改築し、利用者が気軽に集える場所を提供しています。

★活動内容

12月8日(日)北文間コミュニティセンターで一早いクリスマスお楽しみ会を行いました。当日は小学校低学年と幼児が27人、保護者の方17人と多数の参加がありました。

色画用紙で作ったバックにお菓子を詰めて自分で飾りつけたケーキを食べました。また、地域住民の方が面白いアメリカのおはなし“ギーギーなるドア”を聞かせてくれました。サンタクロースも登場して、子どもたちはサンタさんからプレゼントを受け取り、みんなでクリスマスソングを歌ったり、楽しいクリスマス会でした。

★活動スケジュール・プロセス

クリスマスお楽しみ会以外にも、毎月第3日曜日にサロンの日を計画しました。

5月DVD上映会

6月DVD上映会

7月小学生向け夏休みお楽しみ会

午前9時～午後1時

(脳活ゲーム・手作りパズル・輪投げ・グランドゴルフなどチームごとに対戦しました。)

8月DVD上映会

9月DVD上映会

10月コミセン祭り

11月あおぞら寄席(嬉楽亭忠太さんの古典落語を聞きその後簡単な茶話会を行いました。)

茶話会では(煮豆・漬物・ゼリー・おはぎ等)全部手作りで美味しかったと評判でした。

12月クリスマスお楽しみ会
(親子参加・幼児・小学生向け)

★活動の成果・課題

最近は核家族が多くなり、若者の世代がいなくなりがちですが、おじいちゃん、おばあちゃん、子ども夫婦、孫と三世代の家族が参加して頂き、ほっこりとした大家族の暖かさが感じられました。私も子どもが小さいとき、親子クリスマス会はありましたが、3世代のクリスマス会は今回が初めてでした。コロナ禍になってからは、中止していますが、安全な環境になりましたら、また企画したいです。

★苦労した点・工夫した点

子どもが喜ぶゲームなど企画・準備が大変でした。

ケーキのラッピングも子どもたちが自分でやりました。作る楽しみを味わってもらいました。

全て手作りなので、準備に時間が掛かりました。

◎クリスマスお楽しみ会



◎DVD上映会



問合せ先：北文間コミュニティセンター

(北文間コミュニティ協議会事務局) TEL：0297-64-8249

⑨その他（地域コミュニティ協議会）

事例④ 季節の花の寄せ植え講座【龍ヶ崎西コミュニティ協議会】

★活動内容

龍ヶ崎西地区にお住まいの方を中心に年に2回花の寄せ植え講座を開催。

土の選び方、根のほぐし方を学び、長持ちする寄せ植えを作ることができる。

★活動スケジュール・プロセス

- ①講師に講座開催の依頼し日程を決める。
(3カ月前)
- ②広報紙に生徒募集記事を掲載する。
(2カ月前)
- ③受付準備。(2カ月前)
- ④コミュニティセンター窓口にて申し込み受付。(1カ月前)
- ⑤講座開催。(当日)

★活動の成果・課題

- ①プロの花屋さんの指導により、自慢の作品を仕上げる事ができた。
- ②手に入りにくい珍しい花を寄せ植えに使うことができた。

★苦勞した点・工夫した点

たくさんの方に参加して頂けるように、コミュニティセンター利用者の皆さんに声掛けをした。



⑨その他（地域コミュニティ協議会）

事例⑤ 生バンドで歌おう講座【龍ヶ崎西コミュニティ協議会】

★活動内容

龍ヶ崎西地区にお住まいの方を中心に、リードギター・ベースギター・キーボードの演奏で歌謡曲や童謡などを自由に歌う。

難しい歌のテクニックを必要せず、合唱することで楽しくストレス解消ができた。

月1回開催(全6回講座)

★活動スケジュール・プロセス

- ①講師に講座開催の依頼し日程を決める。
(3カ月前)
- ②広報紙に受講生募集記事を掲載する。
(2カ月前)
- ③受付準備。(2カ月前)
- ④コミュニティセンター窓口にて申し込み受付。(1カ月前)
- ⑤講座開催。(当日)

★活動の成果・課題

- ①バンド活動をしている方に講師を依頼し、普段味わうことができない生演奏で歌えた。
- ②6回の講座終了後、サークルとして活動をしている。
- ③センターまつりの発表の部で歌を披露した。

★苦勞した点・工夫した点

- ①難しい発声やハーモニーを追求するのではなく、自由に歌うことで気軽に参加することができるようにした。
- ②メンバーが自分の友人に声をかけ、仲間を増やしてサークル化につながった。



⑨その他（地域コミュニティ協議会）

事例⑥ 春の音楽祭【久保台小学校区わくわく協議会】

★活動内容

寒い冬から沈丁花がほのかに香るこの3月に、地区の皆様へ音楽の調べをお届けし、明日への活力を見いだしていく事業です。出演者は地元の音楽団体、久保台コミュニティセンターで活動しているサークルまたは音楽を発信している個人の方などをお呼びして、2時間の演奏会を実施しました。

★活動スケジュール・プロセス

①5月の協議会総会に事業の実施事項を提案し、承認を得る。

②6月、7月、8月で出演者を募集します。

③9月出演者3グループを選定。

（基本は4グループ）

出演者に春の音楽会の趣旨と時間を説明し、日付と出演料を提示、また演じる会場の確認。

④3カ月前に出演者のプロフィールと、発表の曲目を収集。

⑤1カ月前にポスターを作成し、必要なところ（地域のお店屋さん等）に貼ってもらう。当日のプログラムと、進行表を作成。また、会場の看板作成。

⑥2週間前に出演者に進行表を元に最終打ち合わせ。

⑦前日から会場設営し、音響確認と必要に応じてリハーサルを実施。

★活動の成果・課題

①成果：「地区の住民からこの時期、家に閉じこもりがちなので参加できてよかった。」「身近なところでしかも無料で素晴らしい音楽を聴くことができ、楽しい時間をいただきました。」とお声をいただきました。

②課題1：出演者は素人からセミプロまで範囲を広げています。できれば地区の方を選びたいのですが、出演者がなかなか決まらない。

③課題2：出演者のレベルが高すぎるので、素人が出にくい状態である。

★苦勞した点・工夫した点

①音楽の発表会のため、多目的室の音響効果をどのようにするか、マイク、スピーカーの位置、手持ちマイクの隣とのハウリング防止など、専門家が必要な項目を委員の方で対応できた。

②出演者がスムーズに舞台に上げられるように、細かな進行表を作成し控え室からの流れを滞りなく運用できた。



問合せ先：久保台コミュニティセンター（久保台小学校区わくわく協議会事務局）TEL：0297-65-4788